

第2回検討会で出された 質問に対する追加資料

1. 養成校と受験校との時間数の差について
2. アンケートVの調査分析について
3. 教員の資質の違いについて

平成18年3月16日(木)
厚労省AM10:00~12:00

全国高等学校長協会家庭部会
福祉科高等学校長会
会長 高橋 福太郎
〔学校法人東奥学園 理事長〕
〔東奥学園高等学校 校長〕

【 質問1：養成校と受験校との時間数の差について 】

1. 養成校の最低基準

○大学入学資格のある者（高校卒業等）を対象とした養成施設

教育内容		時間数	教育内容		時間数
基礎分野	人間とその生活の理解	120	専門分野	家政学実習（実習）	90
専門分野	社会福祉概論（講義）	60		医学一般（講義）	90
	老人福祉論（講義）	60		精神保健（講義）	30
	障害者福祉論（講義）	30		介護概論（講義）	60
	リハビリテーション論（講義）	30		介護技術（演習）	150
	社会福祉援助技術（講義）	30		形態別介護技術（演習）	150
	社会福祉援助技術演習（演習）	30		介護実習（実習）	450
	レクリエーション活動援助法（演習）	60		介護実習指導（演習）	90
	老人障害者の心理（講義）	60		小 計	1,530
	家政学概論（講義）	60		合 計	1,650

2. 東奥保育・福祉専門学院の場合

教科目		時間数	教科目		時間数
基礎分野	国語表現	60	専門分野	社会福祉援助技術演習	30
	倫理学	30		レクリエーション活動援助法	90
	日本国憲法	30		老人・障害者の心理	60
	生活科学	30		家政学概論	60
	情報科学	60		家政学実習	90
	英語コミュニケーション	30		医学一般	90
	保健体育	30		精神保健	30
	レクリエーション概論	30		介護概論	60
	小 計	300		介護技術	150
専門分野	社会福祉概論	60	形態別介護技術	150	
	老人福祉論	60	介護実習	450	
	障害者福祉論	30	介護実習指導	90	
	リハビリテーション論	30	小 計	1,560	
	社会福祉援助技術	30	合 計	1,860	